

ラビット通信

3月3日は”worldHearingday”耳の日です。今年も千葉では第39回耳の日まつりが白井で行われます。国際耳の日には世界各地で耳の事を考え大切にケアしようとイベントが行われます。残念ながら狭山ではこれといった催しは予定がない様です。皆様には個々にお話しをさせて頂いておりますように耳とは聞こえだけではなく、身体にとっても、心に於いても共に重要な役割を持っています。痛くも痒くもない故に怖いサイレントキラーと言えます。難聴の悪化で補聴器の効果も全くでな令和2年い補聴器をお勧めできない手遅れの方が毎年いますが、令和2年1月2月ですでに4名いらしています。こうなってしまうと今後は筆談、もしくは読話、手話などしかありません。そうなる前に年齢に関係なく聴力に関心を持ち、定期健診が大切です。私は補聴器だけで無く、「聞こえと認知症」「聞こえの秘密」などで耳のそうじ法から自分のルーツなど様々なゼミをしております。ご興味がある方はぜひ声を掛けて下さい！講師を賜っております。

顧客の皆様へ
点検・クリーニング会のご案内
2020年3月27日（金）
目安ですので、ご都合に合わせてご来店下さい。

追伸 乾燥剤の色を確認下さい。
裏面のシールがピンクか白の場合は交換時期です。

補聴器のラビット



埼玉県狭山市狭山台1-18-11 ☎04-2001-9144
営業時間 9:30~17:30 定休日 木・日・祝日

「耳の日」記念のつどい講演会（補聴器の展示も）

3月3日は「耳の日」です。「耳の日」は、耳や聴力に対する関心を高めてもらうために、「みみ」の語呂合わせにちなんで一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会が昭和31年（1956年）に制定しました。県では、聴覚に障害のある人たちに対する理解を深め、福祉の増進を図ることを目的として、昭和46年度から「耳の日」記念のつどいを開催しています。今年度は、医師や言語聴覚士による講演、補聴器の展示会を行います。皆さんのご来場をお待ちしています。

耳の日



ちなみに



6月6日は
補聴器の日

こちらは
補聴器の日の
マスコット
□□ちゃん

耳の日が3月3日になった理由

「3」という数字の形が耳に似ているから。とも言われますが実は電話を発明したアレクサンダー・グラハム・ベルの誕生日という説が有力です。彼は実母と妻が高度難聴だったと言われ”ろう教育”に尽力したことで有名です。ただその方法は今では賛否両論ですが、その努力が敬意されています。

今月のお客様の声 ご家族様より

私の母は今年93歳になります。2年少し前にこちらで補聴器をお願いしています。始めは慣れるのに少し時間がかかりトラブルもありましたが、お陰様で以前は消極的だった母がデイサービスにも行くようになり明るくなりました。ほとんど聞こえなかった方の耳も聞こえる様になり、補聴器を入れた事により耳の神経が起きて動き始めた様です。歩くときにフラフラする事や耳垂れも減った気がします。はじめは高額なので迷ったのですが毎月メンテナンスをして頂いて母の生活の質が上がった様でこちらの補聴器を選んで良かったと思います。

所沢 匿名